

女子野球を基軸としたスポーツによるまちづくり事業

—No.9 加須市—

【事業の目的】

全国初のプロ野球チーム名を冠した埼玉西武ライオンズ・レディースが本市を拠点に活動を開始したことや「女子野球タウン」の第1号認定を契機に、「女子野球の聖地」の定着と更なる女子野球の普及・振興を図り、女子野球を基軸としたスポーツによる賑わいのあるまちづくりを目的としています。

【事業の内容】

市、全日本女子野球連盟、埼玉西武ライオンズ・レディース、市民、スポーツ団体、企業、市内大学・高校等が一体となって連携・協力しながら、「女子野球タウン」として、女子野球の普及・振興はもとより、スポーツの持つ多様な力を最大限に活かし、女子野球を基軸としたスポーツによる持続的なまちづくり・地域活性化を図ります。

【事業年度】

令和2年度～

【予算額(千円)】

17,693千円(令和2年度)

【財源】

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国)、一般財源(市)

【事業実施に至った背景・経緯】

本市では、これまで全国高等学校女子硬式野球選抜大会や全国女子硬式野球ユース大会を毎年開催するなど、「女子野球の聖地」として女子野球の振興に取り組むとともに、スポーツクライミングやマラソン、駅伝、トライアスロン、自転車競技など、全国・世界規模の大会を誘致・開催するほか、加須きずなスタジアムのリニューアルやスケートパークのオープンなど、市内スポーツ施設

の整備を行い、スポーツを通じた若者が集う地域づくりを進めてきました。

また、令和2年3月には、スポーツを通じた活力と魅力あるまちづくりを実現するため、「スポーツ元気都市」を宣言しました。

こうした中、令和2年4月から埼玉西武ライオンズ・レディースが本市を拠点に活動を開始し、令和2年7月にその運営法人と連携協定を締結。令和2年11月には全日本女子野球連盟による「女子野球タウン」の第1号に認定されるなど、女子野球をはじめとするスポーツによる地域活性化の機運が高まっています。

【事業のPRポイント】

○「女子野球タウン」として女子野球の普及・振興による地域活性化

中学生、高校生、大学生、社会人の各世代の女子野球チームがそろった全国唯一の自治体であり、全日本女子野球連盟や埼玉西武ライオンズ・レディースをはじめとする様々な関係団体と連携し、女子野球を通じた市の魅力・知名度アップによる地域活性化を図ります。

埼玉西武ライオンズ・レディースが本市を拠点に活動するとともに、市の業務を受託することで、選手の就業の場が確保され、選手数名は本市に移住し、地域に密着した活動が行われています。

○個人版ふるさと納税を通じた地元産品の新たな付加価値の創出

個人版ふるさと納税の事務を女子野球を通じた地域活性化に取り組む埼玉西武ライオンズ・レディースの運営法人に委託し、チームの活動を通じた市の魅力発信をはじめ、チーム応援グッズや体験型商品、地元産品とのコラボなど、魅力的な返礼品の企画提案による本市への寄附増進に加え、かぞブランド等の地元産品のPRによる販売促進・地元産業の活性化を図ります。

○企業版ふるさと納税の活用による地方創生の推進

第2次加須市総合振興計画（第2次加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略を包含）に位置付けた事業を、地域再生計画として改めて位置付けた「加須市まち・ひと・しごと創生推進計画」に掲げる寄附活用事業に賛同いただける寄附企業と寄附金を確保し、地方創生に資する取組を推進します。

【事業実績・成果・今後の展開】

<令和2年度>

○個人版ふるさと納税に係る事務の業務委託を開始

個人版ふるさと納税の事務を埼玉西武ライオンズ・レディースの運営法人に委託し、チームの活動を通じて市や地元産品のPRを行うとともに、チー

ム応援グッズ6商品を返礼品に加え、ラインナップを充実したことにより、寄附額が令和元年度比1.5倍となりました。

○企業版ふるさと納税の活用に向けた取組

企業版ふるさと納税の活用に向けて、加須市版の地域再生計画となる「加須市まち・ひと・しごと創生推進計画」を作成し、国への認定申請を行うとともに、寄附企業と寄附金の確保に向けた活動を開始するため、企業への寄附活用事業の紹介資料を作成しました。

○シティプロモーション、魅力発信

埼玉西武ライオンズ・レディースの選手が、市内のうどん店や人気スポットを巡るサイクリングコースを紹介する「るるぶ特別編集加須」を5万部発行するとともに、市ホームページやSNSに埼玉西武ライオンズ・レディースの選手紹介動画や市民に向けたメッセージ等のPR動画を掲載したほか、市広報紙では「女子野球の聖地」としてのこれまでの取組や埼玉西武ライオンズ・レディースの活動などを特集しました。

<今後の展開>

埼玉西武ライオンズ・レディースが、より地域に根ざしたチームとなるため、市イベントへの参加、チーム応援グッズとのコラボ商品の開発、選手の就業の場の確保や本市への移住などに取り組み、地域活性化を図ります。

埼玉西武ライオンズ・レディースのホームタウンとしての強みを活かし、企業版ふるさと納税による寄附企業と寄附金の確保に向けて、積極的に取り組み、寄附企業等と連携しながら、女子野球を基軸とした地方創生に資する取組を推進します。

「女子野球タウン」として、全日本女子野球連盟と情報交換や交流を行い、女子野球教室や講演会といったイベントの実施、市内の観光地や地元産品と女子野球とのコラボなど、女子野球の普及・振興のみならず、スポーツによる市の魅力発信や地域活性化の取組を推進します。

【参考資料】



〔 連絡先 〕

政策調整課 女子野球振興担当 0480(62)1111(内線317)